

2015年11月11日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報52号

リーニャベルメーリャで銃撃戦が発生

11月10日（火）午前、リオ市の中心部とガレオン国際空港とを結ぶ幹線道路であるリーニャベルメーリャ沿線において銃撃戦が発生し、付近道路が約30分間にわたって閉鎖されました。

1. 発生日時

2015年11月10日（火）午前10時20分頃

2. 発生場所

リオ市内フルキン・メンデス地区ファベラ（スラム街）
（ガレオン空港から北西約5キロメートルの地点）

3 状況

- (1) 上記日時場所において軍警察UPP隊員と麻薬密売組織との間で銃撃戦が発生し、リオ市の中心部とガレオン空港とを結ぶ幹線道路であるリーニャベルメーリャが封鎖され、大きな渋滞が発生しました。
- (2) 銃撃戦は約30分間継続し、同道路を通行していた車両から多くの人々が逃げ出し、地面に伏せたまま悲鳴を上げるなど、現場は大きな混乱が生じました。
- (3) なお、この銃撃戦によるけが人等は今のところ報告されていません。
- (4) 銃撃戦の状況を撮影した動画（オ・グローボ電子版「G1」）が見れますので、以下のリンクを参考にしてください。

<http://g1.globo.com/jornal-nacional/noticia/2015/11/tiroteio-para-o-transito-em-importante-do-rio-de-janeiro.html>

【当館から】

- 同通りでは、先週5日にも「アハスタウン（地引き網）」と呼ばれる集団強盗事件が発生しています。
- 総領事館では、空港と市内とのアクセスルートの安全確保に全力を挙げるよう、地元警察に対して要請しています。

- 万が一銃声を聞いたときは、なるべく低い姿勢で銃声が収まるのを待ちましょう。